

わたしたちの

い 茨 ば 城 ら 県 き



いばら き けん
茨城県のシンボル

けん
県の花

ば ら



いばら き しょう わ
茨城という地名にちなんで昭和41年3月28日
に定められました。

けん
県の木

う め



けん せんてい い いん かい せん
県の木選定委員会が設けられ、県民から一番
応募の多かった「うめ」が昭和41年10月6日
に県の木として定められました。



茨城県は、自然や気候に恵まれ、産業もバランスよく発展した住みやすい県です。

茨城県では、みなさんが安全で楽しく快適に暮らせるように、さまざまな仕事をしています。

県の仕事や、ふるさと茨城についていろいろなことを学び、素晴らしい茨城を一緒につくっていきましょう。

茨城県知事 大井川 和彦



県のマーク [県章]

開きはじめての「ばら」のつばみをデザインしたもので茨城県の「先進性」「創造性」「躍動」「発展」を表しています。

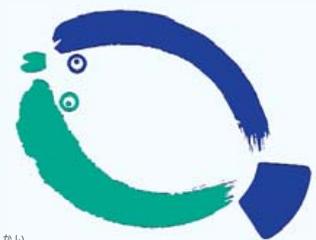
平成3年11月13日に定められました。

県の鳥 ひばり



昭和40年の愛鳥週間に「県民の鳥」を公募し、一番応募の多かった「ひばり」が昭和40年11月3日に県の鳥に定められました。

県の魚 ひらめ



県のさかな選定委員会
が設けられ、県民からの応募が最も多く、本県の重要な資源である「ひらめ」が平成7年6月1日に県の魚に定められました。





● 茨城県のすがた

茨城県は関東地方の北東部にあります。東は約195キロメートルにおよぶ海岸線が太平洋に面し、北は福島県、西は栃木県に接し、南は埼玉県、千葉県に接しています。県内には44の市町村があり、約283万人が住んでいます。

面積は約6千平方キロメートルで、全国で24番目の広さですが、平地が多いため、山、湖を除く人が住める面積（可住地面積）では全国で4番目の広さになります。

気候は太平洋側気候で、冬は北西の風が吹いて乾燥した晴天の日が続き、春から秋にかけて雨が多いのが特徴です。



おもな山

(海からの高さ)

- 八溝山(天子町) 1,022m
- 高笹山(天子町) 922m
- 筑波山(つくば市) 877m

おもな川

(県内を流れる長さ)

- 利根川 133.96km
- 小貝川 75.60km
- 久慈川 70.03km

おもな湖

(面積)

- 霞ヶ浦 168.22km²
- 北浦 35.04km²
- 洳沼 9.35km²

農林水産業



●茨城県は農産物を作るのに適した平地が多いため農業がさかんで、農業産出額は全国第3位です。なかでもメロン、れんこん、鶏卵などの産出額は全国第1位です。
●豊かな漁場がある茨城県は、水産業もさかんで、海から獲れる魚の量は全国第2位、このうち、まいわしの漁獲量は全国第1位です。

工業



●茨城県は、日立地区の電機を中心としたものづくり産業、鹿島地区の素材産業、つくばや東海地区での最先端の科学技術の研究活動などがさかんです。県内には約5,700の事業所があり、工場などで働く人数は約27.5万人で全国第7位、製造品の出荷額は約13.7兆円で全国第7位です。

商業



●茨城県では、食料品、衣服、生活用品を売るお店がたくさんあり、小売店の売場面積は全国第11位、小売業の年間の商品販売額は、約3兆円で全国第12位です。
●大勢の人に茨城県のよさを知ってもらうため、観光に力をいれています。

※このデータは、当パンフレット作成時点（令和6年5月）での最新のものです。

茨城県の市町村

市町村数 32市10町2村
(令和6年4月1日現在)
総人口 2,812,901人
(令和6年4月1日現在)
総世帯数 1,229,834世帯
(令和6年4月1日現在)
総面積 6,097.56km²
(令和6年1月1日現在)
*湖沼の面積も含む

凡例

- ▲各市町村人口(人)
(令和6年4月1日現在)
(茨城県常住人口調査)
- 各市町村面積(km²)
(令和6年1月1日現在)





● 地名の由来

約1,300年前の奈良時代に書かれた「常陸国風土記」という本の中に、「黒坂命という人が、古くからこの地方に住んでいた朝廷に従わない豪族を茨で城を築いて退治した。または、その住みかを茨でふさいで退治した。」という話がかかれています。

この「茨で城を築いた」または「茨でふさいだ」ということから、この地方を茨城と呼ぶようになったといわれています。



写真提供：茨城県立歴史館

常陸国風土記とは

風土記は、諸国の文化、伝承、地理などを記した地方誌のこと。713年(奈良時代)、元明天皇より諸国に編纂の詔が出されました。現存しているものは全国で5つ(常陸国・出雲国・播磨国・豊後国・肥前国)だけで、常陸国風土記は東日本で唯一残る貴重な文化遺産といわれています。常陸の名の由来をはじめ、筑波山や鹿島神宮など、各地の由来や伝説などについて記されており、1300年の時を超えた歴史ロマンを感じさせてくれます。

● 茨城県の誕生

豊かな自然に恵まれた茨城県は、古くから多くの人々が生活していました。「常陸国風土記」から、茨城県のあたりには、多珂・久慈・那賀・茨城・新治・筑波という6つの国があったことが知られていますが、大化の改新によってこれらの国がひとつになって常陸国ができたと考えられます。また、結城・猿島・北相馬地方は下総国に含まれていました。

江戸時代になると、常陸国には水戸藩や笠間藩などの10数藩、下総国には結城藩と古河藩などが置かれました。

徳川幕府が倒れ、明治時代になると、明治政府は明治4年(1871年)7月に藩という制度をなくし、県を置きました。これを廃藩置県といいます。このとき、水戸県や土浦県などの16の県が誕生しました。

同じ年の11月、県の統廃合が行われ、水戸・宍戸・笠間・下館・下妻・松岡の6つの県を合わせて、ここではじめて茨城県が生まれました。またこのとき、新治県と印旛県も誕生しました。

その後、これら3つの統廃合が行われ、明治8年(1875年)5月にほぼ今の姿の茨城県になりました。



茨城県のあゆみ

明治4年(1871)11月

5年(1872)

8年(1875)

12年(1879)

15年(1882)

32年(1899)

40年(1907)

昭和 5年(1930)

20年(1945)

22年(1947)

32年(1957)

34年(1959)

43年(1968)

44年(1969)

45年(1970)

48年(1973)

49年(1974)

51年(1976)

60年(1985)

63年(1988)

平成 元年(1989)

2年(1990)

6年(1994)

9年(1997)

10年(1998)

11年(1999)

12年(2000)

14年(2002)

15年(2003)

16年(2004)

17年(2005)

20年(2008)

22年(2010)

23年(2011)

27年(2015)

28年(2016)

29年(2017)

30年(2018)

令和 元年(2019)

3年(2021)

5年(2023)

茨城県が誕生し、初代参事(今の知事)に山岡鉄舟がなる。

県庁が水戸に置かれる。

県庁が弘道館に開設される。

ほぼ今の大きさの茨城県ができる。

はじめて、県会議員の選挙が行われ、県会が開かれる。

水戸・三の丸に、木造2階建ての県庁舎が建てられる。

今の大きさの茨城県ができる。

水戸に初めて、電灯がつく。

県庁舎(赤レンガの旧本庁舎)ができる。

水戸に空襲がある。

知事が初めて県民の選挙で選ばれる。

原子力研究所第1号炉ができる。

日立港ができる。

11月13日を県民の日と定める。

鹿島港ができる。

大洗港ができる。

筑波大学ができる。

県立歴史館ができる。

第29回国民体育大会が開かれる。

第27回全国植樹祭が開かれる。

国際科学技術博覧会がつくばで開かれる。

常磐自動車道(常磐道)の茨城県区間が全線開通する。

県近代美術館ができる。

第13回全国育樹祭が開かれる。

県つくば美術館ができる。

県自然博物館ができる。

県天心記念五浦美術館ができる。

常陸那珂港ができる。

県庁舎が水戸・三の丸から笠原町に移転する。

つくば国際会議場がオープンする。

県陶芸美術館ができる。

2002FIFAワールドカップ™3試合が県立カシマサッカースタジアムで行われる。

平成14年度全国高等学校総合体育大会(インターハイ)が開かれる。

いばらきブロードバンドネットワーク共用開始

NHK県域デジタル放送開始

第56回全国植樹祭が開かれる。つくばエクスプレス開業

第23回国民文化祭・いばらき2008が開かれる。

北関東自動車道(北関東道)の茨城県区間が全線開通する。

茨城空港開港

東日本大震災で本県にも大きな被害

関東・東北豪雨で本県に大きな被害

G7茨城・つくば科学技術大臣会合がつくば国際会議場で開かれる。

首都圏中央連絡自動車道(圏央道)の茨城県区間が全線開通する。

第17回世界湖沼会議(いばらき霞ヶ浦2018)が開かれる。

G20茨城つくば貿易・デジタル経済大臣会合がつくば国際会議場で開かれる。

第74回国民体育大会が開かれる。

東日本台風で本県に大きな被害

東京2020オリンピックサッカー競技が茨城カシマスタジアムで行われる。

台風第2号・第13号で本県に大きな被害

第46回全国育樹祭、G7茨城水戸内務・安全担当大臣会合が開かれる。



11月13日 茨城県民の日

県民の日は、明治4年(1871年)11月13日に「茨城県」という県名が初めて使われたことにちなみ、県民一人一人が郷土茨城についての理解と関心を深め、より豊かな生活と県の発展を願う日として、昭和43年(1968年)に定められました。

現在の県庁舎は、県民のみさんの憩いの場所となるように、緑豊かな環境の中に、平成11年に建てられました。地上25階地下2階建ての建物で、建物の高さは一番高いところで116mあります。約15haの敷地の中に、県庁舎、県議会議事堂、県警察本部庁舎などの建物があります。

けんちょう 県庁のしくみ

知事



県では、選挙で選ばれた知事と県議会議員とが、それぞれ独立した立場で、県民のみなさんが安全で快適に暮らせるように、力を合わせて仕事をしています。

知事は、県民のみなさんが住みよい暮らしができるように、仕事の計画やそれに必要な予算案などを県議会に提案し、議会で決められたことに基づき仕事を進めます。

たくさんの仕事があるので、約6,000人の県職員がそれぞれの部などに分かれて仕事をしています。

知事の任期は4年間で、現在の
大井川知事は選挙で選ばれるようになってから5人目の知事です。

副知事

知事を補佐します。

総務部

予算をとりまとめたり、税金や選挙の取り扱い、市町村の仕事の手助けをします。



政策企画部

県の将来をよくするための計画を立てたり、県の重要な仕事の調整をします。



県民生活環境部

自然を守ったり、安全に暮らせるまちづくりを進めたり、文化をさかんにしたりして、暮らしを豊かにします。



防災・危機管理部

自然災害などから県民の安全を守ります。



営業戦略部

県産品を国内外に売り込んだり、県内へ観光客に来てもらうための取り組みなどをおこないます。



立地推進部

県民が働ける場をつくらしたり、地域の産業をさかんにするため、企業に来てもらう取り組みなどをおこないます。



産業戦略部

商工業などの産業をさかんにし、また、みんなが安心して働けるようにします。



農林水産部

農業や林業、水産業をさかんにします。



土木部

道路や橋、公園や下水道をつくり、住みよい暮らしができるようにします。



投票



投票

提案

決定



県議会議員

県議会議員は、県内の32の選挙区から選ばれた県民の代表です。議員の任期は4年で、定数は62人です。

県民のみなさんが住みよい暮らしができるように、議員が集まり県議会を開き、将来の県の仕事やそれに必要な費用(予算)、みんなが守るべき約束(条例)について話し合いをします。

県議会には、定例会と臨時会の2種類があります。定例会は、通常、年に4回(2月、6月、9月、12月)開かれ、臨時会は、必要があるときに開かれます。また、県議会は、知事のよびかけ(招集)により開催されます。

公営企業管理者

企業局

市町村の水道や工業用水を送ります。



病院事業管理者

病院局

県立病院を運営しています。



保健医療部

病気を予防したり、安心して医療が受けられるようにして、県民の健康を守ります。



福祉部

子育てのお手伝いやお年寄りや障害がある方の暮らしの手助けをします。



会計事務局

県の仕事をするうえで必要なお金の出し入れや、管理をします。



行政委員会

中立で公平な立場で判断しなければならぬ仕事をするため、知事から独立して設けられています。

公安委員会

警察本部

交通事故や犯罪を防止したり、交通安全の指導をします。



教育委員会

教育庁

学校の先生や授業、校舎のことなど、教育をよくするための仕事をします。



その他の行政委員会

選挙管理委員会、監査委員、人事委員会、労働委員会、茨城海区漁業調整委員会、霞ヶ浦北浦海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、収用委員会があります。

県の仕事 県のこれからの目標

国、都道府県(茨城県)、市町村は、私たちの暮らしを良くするために、役割を分担して仕事をしています。

茨城県の仕事を大きく分けると次の4つになります。

県内の広い地域にわたる仕事

道路や川を管理する
森林・水産など天然資源を守り活用する
ダム・下水道などをつくる

市町村ではしにくい大きな仕事

高校・特別支援学校・大学・研究所などをたてる
農林水産業・商工業をさかんにする

市町村への協働と連絡の仕事

国や市町村との連絡や市町村の仕事についての協力

県内全体が同じめやすで行う仕事

各種営業の許可や取りしまり
県民の安全を守る
県民の健康を守る

第2次茨城県総合計画～「新しい茨城」への挑戦～

総合計画って何？

- ・これからの「新しい茨城」をつくるために、県だけでなく、みんなで取り組むことをまとめた「羅針盤」のようなものです。
- ・「活力があり、県民が日本一幸せな県」を目指します。

茨城の未来はなるの？

- ・みなさんが、希望をもって、自由で新しい発想のもと、かなえたい夢に向かって挑戦できるような県になっています。
- ・産業が盛んになり、安心安全で豊かな暮らしができています。
- ・交通ネットワークが整備されて、地域の交流が進み、誰もが「夢・希望」にあふれる生活が送れます。

どんなことをするの？

4つの新しいチャレンジに取り組みます。

- I 「新しい豊かさ」** 力強い産業を育て、ゆとりある暮らしができる豊かな社会を目指します。
- II 「新しい安心安全」** 保健、医療、福祉、治安、防災に力を入れて、県民の命を守ります。
- III 「新しい人財育成」** 茨城の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい県を目指します。
- IV 「新しい夢・希望」** 将来にわたって夢や希望を描ける、魅力ある県にします。

いばらき幸福度指標

「いばらき幸福度指標」は、豊かさや暮らしやすさを表す42種類のデータからできています。このデータが毎年どう変わったかを確認して、全国ランキングを出すことで、皆さんがかなえたい夢に向かって挑戦できる県になっているかを確認していきます。

いばらき幸福度指標によるランキング2023
チャレンジ別

豊かさ	5位	安心安全	40位
人財育成	15位	夢・希望	11位

総合
いばらき 茨城県 13位



【たとえば、こんなデータで計算しているよ】

- ・働く人のお給料（雇業者報酬（雇業者1人当たり））
- ・お医者さんや看護師さんたちの数（医師数・看護職員数（いずれも県民10万人当たり））
- ・健康的に長生きできる期間（健康寿命）
- ・保育園に入れるか（待機児童率）
- ・犯罪やいじめなどの事件数（刑法犯認知件数（県民千人当たり）、人権侵犯事件数（県民1万人当たり））

わたしたちの命を守るために

大規模災害への対応

近年、茨城県では平成23年3月11日に東日本大震災、平成27年9月10日には関東・東北豪雨、さらに令和元年10月13日には東日本台風によって大きな被害を受け、国内外の多くの人から助けられました。これらの経験から、いつ起こるかわからない地震や津波、水害などに対して準備しておくこと、人と人との助け合いの大切さなど、多くのことを学びました。

茨城県ではこうして学んだことを活かし、災害に強い建物や道路・港・堤防を作ったり、地域で避難訓練などの防災活動をする人々を応援する取組を進めています。

茨城県の防災体制

地震や津波・水害などの大きな災害が起これば、茨城県庁防災センター内の災害対策本部室に茨城県知事をはじめ、自衛隊や警察などの人たちが集まり、対応を話し合います。

また、電話などが使用できない場合でも「防災情報ネットワークシステム」を使って、市町村や消防本部、病院などと連絡することができます。



大洗港津波被害

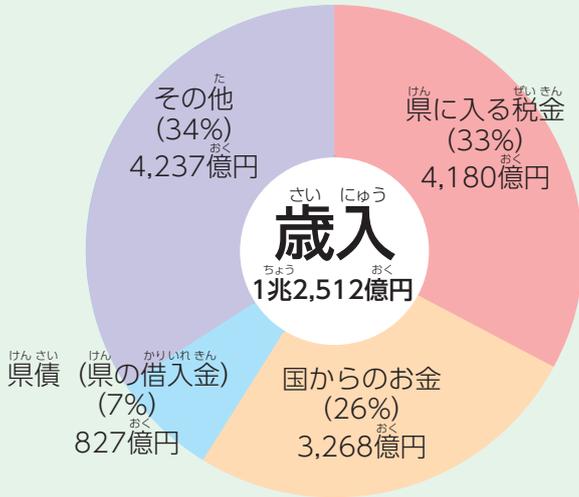


防災ヘリコプター「つくば」

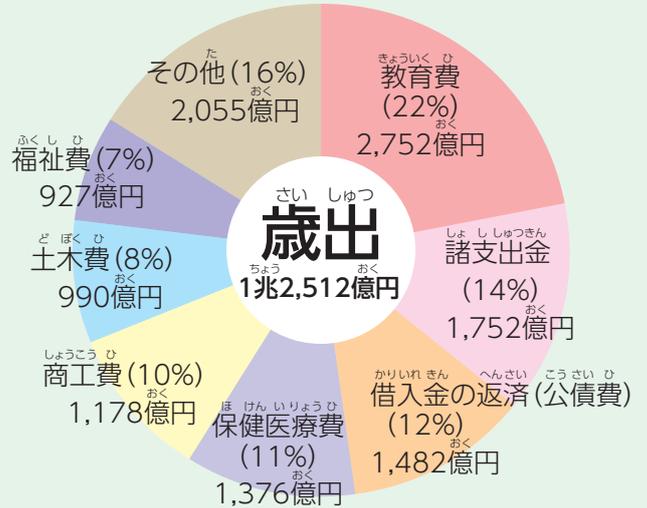
県に入るお金と使いみち

一年（4月1日から翌年3月31日まで）のあいだに、どれだけのお金が入ってきて、それをどう使うかを表したものが予算です。（令和6年度）

県に入るお金（歳入）



県で使うお金（歳出）



数字で見る茨城県

()は全国での順位、[]は調査時期、〈 〉は資料出所

土地・人口

総面積	6,097.56km ² (24位) [令和6年1月1日]〈国土地理院〉
可住地面積割合	63.8% (5位) [令和4年10月1日]〈総務省〉
耕地面積割合	26.1% (1位) [令和5年7月15日]〈農林水産省〉
住宅敷地面積 (1住宅当たり)	395m ² (1位) [平成30年10月1日]〈総務省〉
総人口	2,839,555人 (11位) [令和4年10月1日]〈総務省〉
人口密度 (総面積1km ² 当たり)	466人 (12位) [令和4年10月1日]〈総務省〉

生活

水道普及率	95.3% (36位) [令和5年3月31日]〈厚生労働省〉
下水道普及率	65.0% (31位) [令和5年3月31日]〈国土交通省〉
自動車保有台数	2,664,166台 (11位) [令和5年1月30日]〈自動車検査登録情報協会〉
道路美延長	55,449km (2位) [令和4年3月31日]〈国土交通省〉
病院数 (精神科病院を除く)	153施設 (13位) [令和4年10月1日]〈厚生労働省〉

産業

総農家数	71,761戸 (2位) [令和2年2月1日]〈農林水産省〉
農業産出額	4,409億円 (3位) [令和4年]〈農林水産省〉
製造業従業者数	275,475人 (7位) [令和4年6月1日]〈総務省・経済産業省〉
製造品出荷額等	13兆6,869億円 (7位) [令和3年]〈総務省・経済産業省〉

教育

小学校数・児童数	(449校) 130,570人 (12位) [令和5年5月1日]〈文部科学省〉
中学校数・生徒数	(224校) 70,048人 (12位) [令和5年5月1日]〈文部科学省〉
図書館数	67館 (18位) [令和3年10月1日]〈文部科学省〉



茨城県では、4本の高速道路・2つの港に茨城空港と陸・海・空の交通ネットワークの整備がすすんでいます。



1 茨城空港 (小美玉市)

茨城空港は、平成22年3月に開港しました。現在は、札幌、神戸、福岡、那覇への国内線と、中国、台湾への国際線が就航しており、北関東の空の玄関口として、多くの観光客等を受け入れております。

空港ターミナルビルでは、出発ロビー、到着ロビーを1階に集約しており、フロアを移動することなく航空機へ搭乗できるため、高齢の方やお子様連れの方も快適にご利用できます。

2 茨城の港 (1)茨城港 (2)鹿島港

(1)茨城港 (日立港区・常陸那珂港区・大洗港区)
平成20年末に日立港・常陸那珂港・大洗港の3つの港を統合して「茨城港」として新しいスタートをしました。各港区の特長を活かし、建設機械・完成自動車などの輸出入拠点やフェリー・クルーズ船の寄港など物流・交流拠点として発展を続けています。

(2)鹿島港
鹿島港は世界有数の掘込港湾で、首都・東京へ1時間あまりで連絡でき、首都圏の東の玄関口となっています。鹿島臨海工業地帯の原材料や製品の海上輸送基地として役割を担っています。穀物の輸入量は全国第1位であり、私たちの食生活にも深く関わっています。



3 つくばエクスプレス沿線のまちづくり

つくばと秋葉原を最短45分で結ぶつくばエクスプレス (TX) は平成17年8月に開業以降、多くの方々に利用されています。鉄道の沿線地域では新しいまちづくりが進み、多くの住宅や商業施設ができることと人口増加の傾向がみられるなど、賑わいを見せています。これからも人・モノ・情報の交流がますます活発になり、地域の一層の発展が期待されています。

4 県土を支える4本の高速道路

高速道路は、豊かで活力ある地域社会の形成及び広域的な連携を支えるうえで必要不可欠な基盤施設です。

県内には常磐自動車道 (常磐道)、北関東自動車道 (北関東道)、首都圏中央連絡自動車道 (圏央道)、東関東自動車道水戸線 (東関東水戸線) の4本の高速道路があります。

伝統工芸

結城紬 結城市、八千代町、下妻市、筑西市



(S31重要無形文化財指定・S52国伝統的工芸品指定)
・H22ユネスコ無形文化遺産登録)
全国に名が知られている高級絹織物です。
糸紡ぎや機織りなど、その工程のほとんどを手作業で行い、ふっくらとした風合いが特徴です。

笠間焼 笠間市ほか8市2町



(H4 国伝統的工芸品指定)
江戸時代に信楽から陶工を招いたことが始まりと言われている笠間焼は、二百五十年の歴史があります。笠間粘土の生み出す独特の渋さどぬもりが、全国の陶芸ファンに愛されています。

真壁石燈籠 桜川市



(H7 国伝統的工芸品指定)
室町時代末期に始められた仏石作りが起源とされ、柔らかく繊細な彫刻と重厚かつ堅牢な存在感が特徴であり、苔がつくことで一段とその持ち味が生かされ、日本庭園等に優雅さと趣を醸し出します。

茨城県イラストマップ



大子広域公園オートキャンプ場グリーンウェイ



茨城県立歴史館



笠松運動公園



茨城県陶芸美術館



霞ヶ浦環境科学センター



いばらきフラワーパーク



4 北関東自動車道

2 アクアワールド茨城県大洗水族館

2-1 茨城県大洗水族館

3 カシマサッカースタジアム

2-2 鹿島港

4 東関東自動車道

水戸線

首都圏中央連絡自動車道

ほうさい
防災センター (県庁舎6階)

こうずい じしん さいがい けんみん まち ひがい
 洪水や地震などの災害から県民を守り、被害を少
 なくするために、すばやく情報を集め、災害対策を
 します。

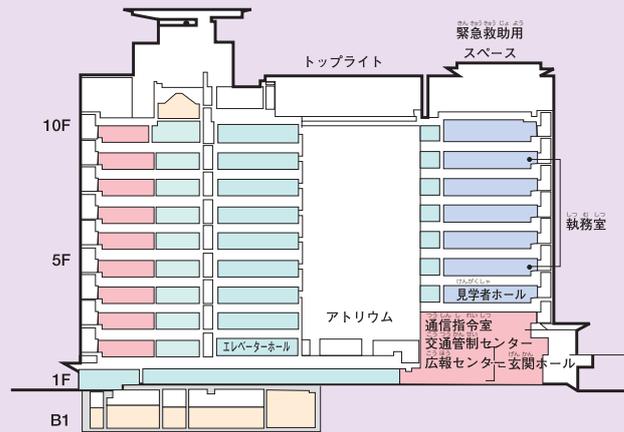
●見学には予約が必要です。(開庁日のみ)



けいさつ しごと しょうかい
 警察の仕事やしくみを紹介したり、白バイなどが展示
 されている**広報センター**(2階)は自由に見学できます。

●開庁日/9:00~15:30

(通信指令室・交通管制センターの見学は事前の申込みが必要です)



けん せい こう ほう
県政広報コーナー (県庁舎2階)

けんみん のみなさんと けん との こうりゅう の場です。
 生活に必要な情報や県の仕事に関する情報を提供
 しています。

●県政広報コーナーは自由に見学できます。

開庁日/8:30~17:00

閉庁日/10:00~17:00



けん せい こう ほう
●県政広報コーナー1

いばらき けんない かいさい
 茨城県内で開催されているイベントや、県内のプロスポーツ
 チームやテレビ・映画のロケ地などを紹介しています。
 休憩スペースも利用できます。



けん せい こう ほう
●県政広報コーナー2

けん と さまざま しごと こう ほう どう つか
 県が取り組んでいる様々な仕事を、広報パネル等を使っ
 て、紹介しています。

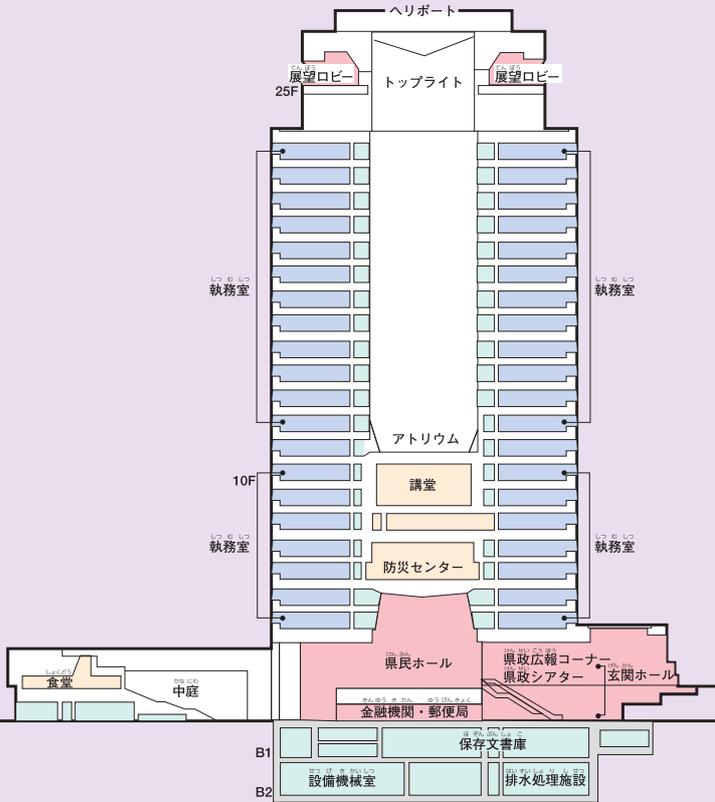


けん せい
●県政シアター

けん しごと けん しょうらい すがた しょうかい えいぞう
 大きな画面で、県の仕事や県の将来の姿などを紹介する映像
 を見ることができます。

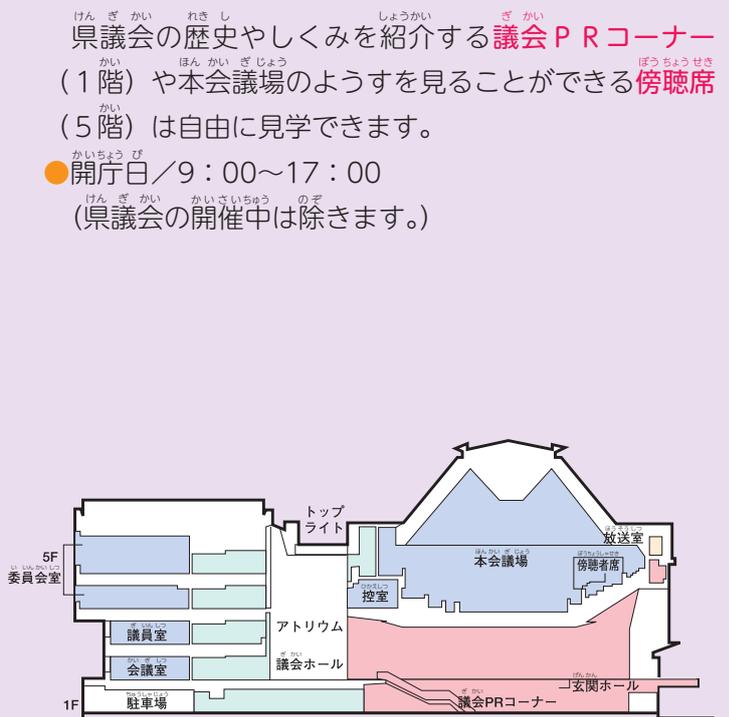
県庁舎

地上25階地下2階
高さ116m



県議会議事堂

地上5階
高さ39m



県議会の歴史やしくみを紹介する **議会PRコーナー**
(1階) や本会議場のようすを見ることができる **傍聴席**
(5階) は自由に見学できます。

- 開庁日 / 9:00~17:00
(県議会の開催中は除きます。)

県庁25階展望ロビーから見える風景

水戸市内など関東平野の様子がよく見えます。

西

[北方向]
水戸市街
倍楽園、水戸芸術館、日立エレベーター研究塔など

[西方向]
筑波山、加波山
笠間市
日光連山など

南

[南方向]
土浦市、筑波研究学園都市
牛久大仏など

北

[東方向]
太平洋
ひたちなかエネギープロジェクト
大洗マリンタワー
ひたち海浜公園など

東

展望ロビー (県庁舎25階)

地上約100mの高さから、茨城県の風景を眺めることができます。パネルなどを使って展望案内や、茨城の自然を紹介しています。

- 展望ロビーは自由に見学できます。
開庁日 / 9:30~22:00
閉庁日 / 10:00~22:00



行政情報センター (県庁舎3階) では、県の仕事に関係する資料をそろえています。自由にご利用ください。

- 開庁日 / 8:30~17:00

たの しい せつ 楽しい施設



1 ミュージアムパーク 茨城県自然博物館 (坂東市)

自然豊かな菅生沼のほとりに立地する博物館です。「進化する宇宙」や「地球の生い立ち」、「自然のしくみ」などを展示する常設展示と年に3回程度開催する企画展示では、自然の偉大さや不思議さを学ぶことができます。



2 アクアワールド 茨城県大洗水族館 (大洗町)

サメの飼育種類数日本一を誇り、約20,000匹のイワシが光と音に合わせて躍動する「IWASHI LIFE」、ペンギンなどを間近で観察できる「オーシャンテラス」など見どころが満載。令和6年3月には当館生まれのミズクラゲたちが揺らめく「くらげ365」が新たな映像と香りの演出により、没入感たっぷりの新しい「美しき新世海」として生まれ変わりました。



3 カシマサッカースタジアム (鹿嶋市)

日本初の屋根付きサッカー専用スタジアムで、Jリーグ鹿島アントラーズのホームスタジアムです。

2002年のFIFAワールドカップ™や東京2020オリンピックサッカー競技の開催会場になりました。

茨城県のホームページ

インターネットを使って茨城県のホームページを見ることができます。

●茨城県ホームページ <https://www.pref.ibaraki.jp/>

いばキラTVアナウンサー
「茨ひより」



記念スタンプ



※記念スタンプは、県庁舎2階「県政広報コーナー2」と25階「展望ロビー」にあります。

年 月 日 (曜日) 年 組 名前

茨城県総務部知事公室報道・広聴課

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978番6

TEL 029-301-2140 FAX 029-301-2169